

「おおいた“くらしサポート”事業」(生活困窮者等に対する相談支援事業)

この事業は、大分県内の社会福祉法人(施設)で構成する「大分県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会」が実施します。各施設が互いに連携、協働し、既存の制度では対応しきれない狭間の問題や、生活困窮などの課題を社会福祉法人としての「強み」を活かして迅速に対応することを目的としています。

みなさんの暮らしにまつわる相談を受けつけます。失業、虐待、けがや病気が原因で生活に困っている人はいませんか?



連携

社会福祉法人(施設)

法人内のコミュニティソーシャルワーカー
法人職員が兼務または専従

〈具体的な業務〉

- 地域の困り事を抱える方々の生活相談(ソーシャルワーク)
- 支援の必要度を判断し、施設長の決裁に基づき、経済的援助を実施(10万円上限、現物)

地域に根ざした「施設」の強みを活用

- 民間の「独自性」「即応性」「柔軟性」の発揮
- 施設機能を活かした支援の展開(施設の空きスペースの活用)
- 職員の専門性の発揮
- 生活困窮者への就労支援 等

地域で何らかの支援を必要とする人

生活困窮者、被虐待児者、精神障がい者、判断能力の不十分な方、高齢者世帯、母子世帯 等

コミュニティソーシャルワーカー

支援を必要とする方の状況に応じ、「施設」「市町村社協」の相談窓口へ繋ぐ

市町村社会福祉協議会

生活困窮者自立支援事業
県内16市町村社協が受託

〈具体的な業務〉

- 民生委員等と連携し、地域の困窮者(恐れを含む)の掘り起こし
- 相談者個々に応じた包括的な総合相談支援の実施(プラン作成)
- 経済的な給付は、離職者に対する住居確保給付金制度あり

その他社協機能の活用

- 生活福祉資金貸付制度
- あんしんサポートセンター
- ボランティアセンター
- インフォーマルサービス事業
- 権利擁護センター
- フードバンクおおいた 等

財源及び人的支援

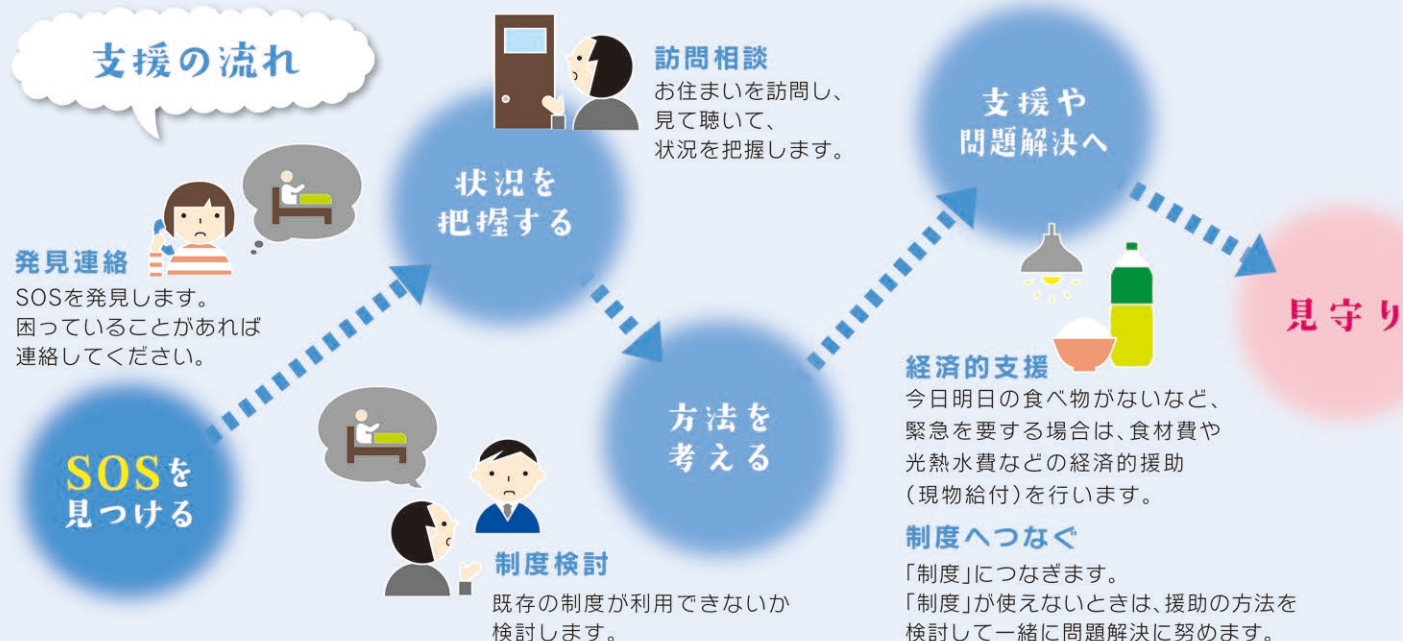
社会貢献活動基金

調整

社会貢献活動推進コーディネーター

大分県社会福祉協議会 (大分県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会)

支援の流れ



宇佐市の「明峰会」



まちなちみかり食堂のチラシを持つ志田理事長



食堂で提供した食事の一例

まちなちみかり食堂で、食事を楽しむ子どもたち

地域とつながり、支え合う

食堂を運営し、道路清掃にも力

宇佐市の社会福祉法人「明峰会」は、コミュニティサロンで「まちなちみかり食堂」を開き、地域の子どもらに食事を提供してきた。地域とのつながりを大事にし、道路の清掃活動にも取り組んでいる。

食堂は、明峰会が設立したNPO法人「おたすけネットひびき」が運営するコミュニティサロン「四日市まちなちみかり」内に、2019年にオープンした。栄養バランスを考えた食事を、毎月第2水曜の午後4時から同7時まで提供。小・中学生は200円、高校生以上は300円で利用できるようにした。

明峰会の志田絵里子理事長は「親が夜間働いている子どもたちが一人で食事をしなくてはむづかしい、サロンに集まる地域住民と一緒に食事ができないかと考えたのがきっかけ」と振り返る。

食事を作るのは、明峰会が運営する老人ホーム「ケアハウス光」の職員。子どもたちにはハンバーグやカレーライスといったメニューが人気で、職員が育てた野菜も料理に使った。外国人旅行者が立ち寄ることもあり、食堂は集まった人たちの交流の場としてにぎわった。子どもの家族が利用することもあり、働く親の夕食作りの負担軽減にも貢献した。



側溝の落ち葉を取り除く職員

現在は、人手不足に加えてコロナ禍の影響もあり、活動を休止しているが、4月に新しく開設する地域密着型の小規模多機能居宅介護施設で、再オープンする構想がある。志田理事長は「食堂を長く続けるために安定したマンパワーを確保し、サロンと協力して地域貢献の拠点にしたい」と意気込む。

明峰会は長年、ケアハウス光周辺の道路の清掃も行っている。地域住民の散歩道で、子どもたちの通学路になっている道路の安全を保つため、職員が定期的に側溝の落ち葉を取り除き、草を刈るなどしている。「社会貢献をすることで地域とつながり、お互いを助け合える関係を築きたい。その関係をまわすにつなげたい」と志田理事長。

社会福祉法人 明峰会

住所 〒879-0471 大分県宇佐市大字四日市4442-1
TEL (0978)33-4730 HP <http://meihokai.or.jp>
理事長 志田 絵里子
運営施設(事業所) ケアハウス光、ウェルネスひかり、ひかりデイサービス、グループホームオハナ、ひかり介護サービス、福祉農場 安心家族、グループホームひびき山

